

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2004-536615 (P2004-536615A)

【公表日】平成 16 年 12 月 9 日 (2004.12.9)

【年通号数】公開・登録公報 2004-048

【出願番号】特願 2003-517263 (P2003-517263)

【国際特許分類】

C 1 2 N 5/06 (2006.01)

A 6 1 K 35/12 (2006.01)

A 6 1 K 35/48 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/705 (2006.01)

C 0 7 K 14/82 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 5/00 E

A 6 1 K 35/12

A 6 1 K 35/48

A 6 1 K 39/00

A 6 1 P 35/00

C 0 7 K 14/705

C 0 7 K 14/82

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 7 月 5 日 (2005.7.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の工程を含む抗原提示細胞の作成方法：

- a) 対象から収集された細胞を活性化する工程、
- b) 生体外で該活性化した細胞を培養および所望により増加させる工程、
- c) 該培養および所望により増加させた細胞を DNA 低メチル化剤で処理して該細胞から同時に複数の腫瘍関連抗原を発現させる工程。

【請求項 2】

該対象が哺乳類である請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

該対象がヒトである請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

該対象が癌患者である請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

該細胞が免疫細胞である請求項 1 から 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 6】

該細胞が非免疫細胞である請求項 1 から 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 7】

該細胞が共有免疫優性癌抗原を発現する請求項 1 から 6 のいずれかに記載の方法。

【請求項 8】

該細胞が共有非免疫優性癌抗原を発現する請求項 1 から 6 のいずれかに記載の方法。

【請求項 9】

該細胞がエプスタイン・バーウイルス - 不死化 B - リンパ芽球腫細胞系である、請求項 1 から 5、7、8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 10】

該細胞がヤマゴボウマイトジェン (PWM) - 活性化 B - リンパ球である、請求項 1 から 5、7、8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 11】

該細胞が CD40 活性化 B - リンパ球である、請求項 1 から 5、7、8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 12】

該細胞がフィトヘマグルチニン (PHA) + 組換えヒトインターロイキン - 2 (rhIL - 2) - 活性化 PBM C である、請求項 1 から 5、7、8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 13】

該細胞がフィトヘマグルチニン (PHA) + 組換えヒトインターロイキン - 2 (rhIL - 2) + ヤマゴボウマイトジェン (PWM) - 活性化 PBM C である、請求項 1 から 5、7、8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 14】

該細胞が樹状細胞、単球、マクロファージである、請求項 1 から 4、6 から 8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 15】

該細胞が CD34 + 細胞、線維芽細胞、幹細胞、線維芽細胞および角化細胞である、請求項 1 から 4、6 から 8 のいずれかに記載の方法。

【請求項 16】

工程 c) においてヒストン脱アセチル酵素阻害剤を使用する、請求項 1 から 15 のいずれかに記載の方法。

【請求項 17】

DNA 低メチル化剤が 5 - アザ - シチジンまたは 5 - アザ - 2' - デオキシシチジンから選択される、請求項 1 から 16 のいずれかに記載の方法。

【請求項 18】

請求項 1 から 17 のいずれかに記載の方法によって得られる細胞。

【請求項 19】

1 または複数の癌抗原を構成的に発現する様々なヒストタイプの悪性腫瘍の予防および治療のための、請求項 18 に記載の細胞および / またはその細胞成分を含む組成物。

【請求項 20】

該共有癌抗原が免疫優性癌抗原である、請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 21】

該共有癌抗原が非免疫優性である、請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 22】

該癌抗原が癌精巢抗原である、請求項 18 に記載の組成物。

【請求項 23】

該細胞がプールされた抗原の貯蔵所として保存される、請求項 19 から 22 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 24】

癌ワクチン用の請求項 23 に記載のプールされた抗原。

【請求項 25】

請求項 18 に記載の細胞を含む癌ワクチン。

【請求項 26】

該ワクチンが自己由来である請求項 25 に記載のワクチン。

【請求項 27】

該ワクチンが同種由来である請求項 25 に記載のワクチン。

【請求項 28】

細胞が請求項 23 に記載のように使用される、請求項 27 に記載のワクチン。

【請求項 29】

請求項 19 に記載の細胞成分が使用される、請求項 27 または 28 に記載のワクチン。

【請求項 30】

エフェクター免疫細胞の作成方法における請求項 18 に記載の細胞および / またはその細胞成分の使用であって、該エフェクター免疫細胞が養子免疫治療に有用な産物の調製のために用いられる使用。

【請求項 31】

請求項 25 から 29 のいずれかに記載のワクチンおよび低メチル化剤の全身的投与に好適な医薬組成物を含む製品。